

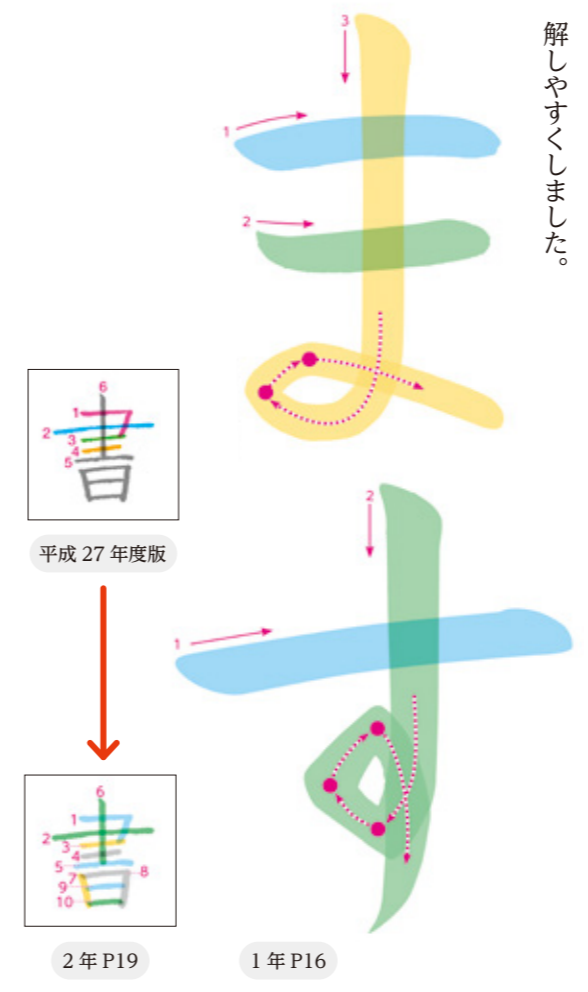
全てのの子供に「分かったー!」「できたー!」の喜びを。

特別な教育的ニーズのある子供に分かりやすく工夫した紙面は、特性の有無に関わらず誰もが学びやすい、東京書籍がめざすのはそんな教科書です。左利きの子供にとっての学びやすさにも向き合いました。

特別支援教育への配慮

「どこまでを一画で書くの?」に応える文字の開発

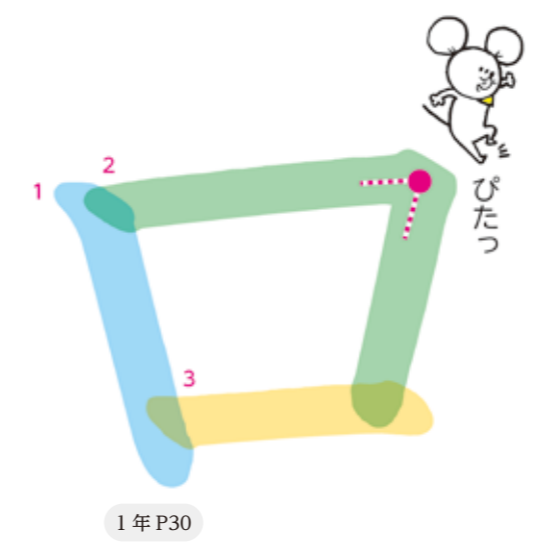
特別支援教育を要する子供の中には、**文字を書く過程を再生**することが困難で、例えば、「す」が「十」「〇」「ノ」の組み合わせに見えるという子がいます。点画を分解し、それぞれ色を変えることで、**どこまでを一筆で書くものなのか**を理解しやすくなりました。



目で見て、指でなぞって、声に出して。一人一人に合った多様な学習方法

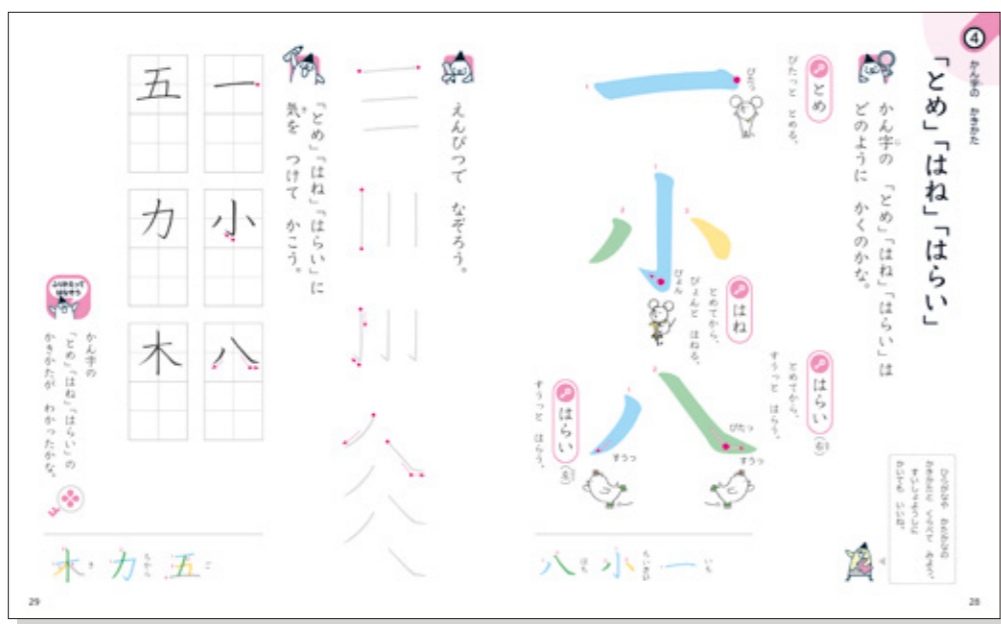
記号などで視覚化する、動作を取り入れる、「すうっ」「びたっ」と声に出す、**理解しやすい方法は子供によってさまざま**です。

擬態語やキャラクターの動き、記号などを用い、**多感覚に働きかける**ことで、子供たちがそれぞれの特性に合った方法で理解を図れるようになりました。



すっきりした紙面

イラストや図版に使う**色の数や分量を制限**することで、学習に集中できるようにしました。



1年P28・29



平成27年度版

すっきり生まれ変わりました

教材文字に集中できる

「毛筆教材の周りに、イラストなどほかの要素があると集中できない子がいる」との現場の先生方の声を受け、**毛筆教材文字の周囲には他の要素は置かず**、毛筆教材文字+書写用語の確認のインデックスのみで構成しています。



拡大コピーをすると...



4年P11

毛筆教材だけを原寸大で示すことも可能です。

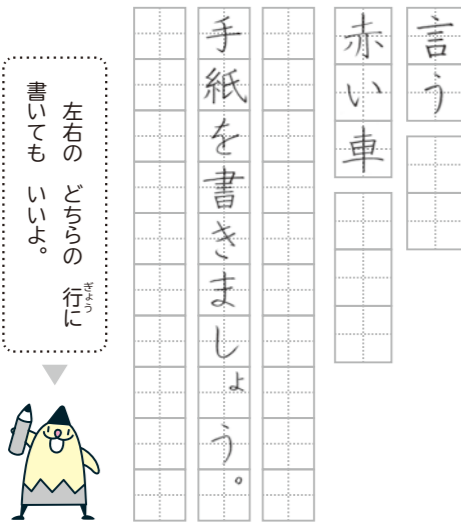
- 知識及び技能
- 思考力、判断力、表現力等
- 学びに向かう力、人間性等
- 主体的・対話的で深い学び
- 見方・考え方 資質・能力
- 学習過程の明確化
- 学習の系統性の重視
- 国語との連携
- 文字文化
- 特別支援教育
- ユニバーサルデザイン
- 幼小接続
- スタートカリキュラム
- 小中接続
- カリキュラムマネジメント
- 他教科との関連
- 教科横断的に取り組む課題
- 授業支援
- ICT活用 デジタルコンテンツ
- デジタル教科書
- 教師用指導書

- 知識及び技能
- 思考力、判断力、表現力等
- 学びに向かう力、人間性等
- 主体的・対話的で深い学び
- 見方・考え方 資質・能力
- 学習過程の 明確化
- 学習の系統性の 重視
- 国語との連携
- 文字文化

特別支援教育

ユニバーサルデザイン

- 幼小接続
- スタートカリキュラム
- 小中接続
- カリキュラムマネジメント
- 他教科との関連
- 教科横断的に取り組む課題
- 授業支援
- ICT活用 デジタルコンテンツ
- デジタル教科書
- 教師用指導書



2年P19

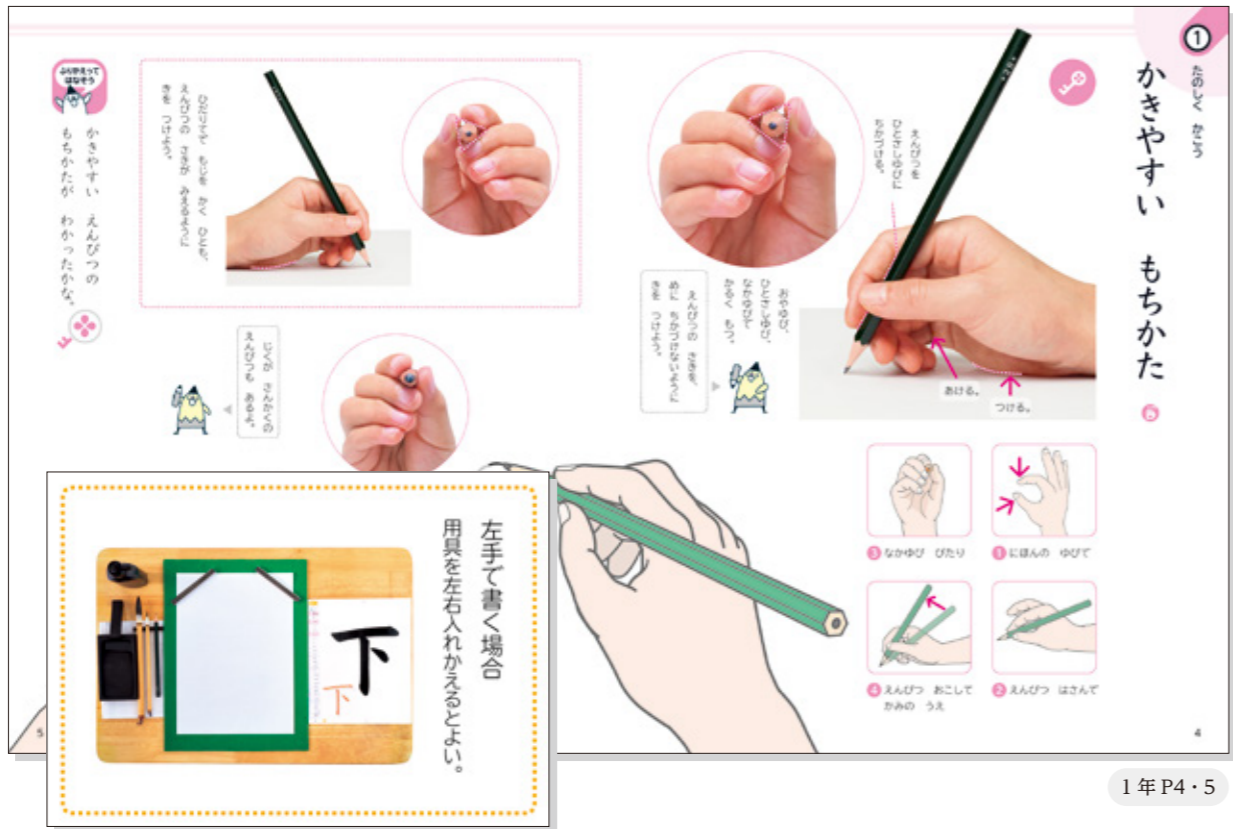
左に教材文字、右に書き込み欄。教科書によくある配置ですが、左利きの子供の場合、書くときに手で教材文字が隠れてしまいます。「新しい書写」は、教材文字と書き込み欄を上下に配置したり、書き込み欄を左右両方に配置したりして、**利き手に関わらず教材文字が見えやすい工夫**をしています。

書き込み欄の配置も工夫

右利きの持ち方の写真のみが掲載されていたこれまでの教科書では、左利きの子供たちは写真の頭の中で反転させて、それを自分の手指で再現しなければなりません。そこで、**左利きの写真を載せることで不要な負担をなくす**よう配慮しました。

右手・左手どちらの持ち方も掲載

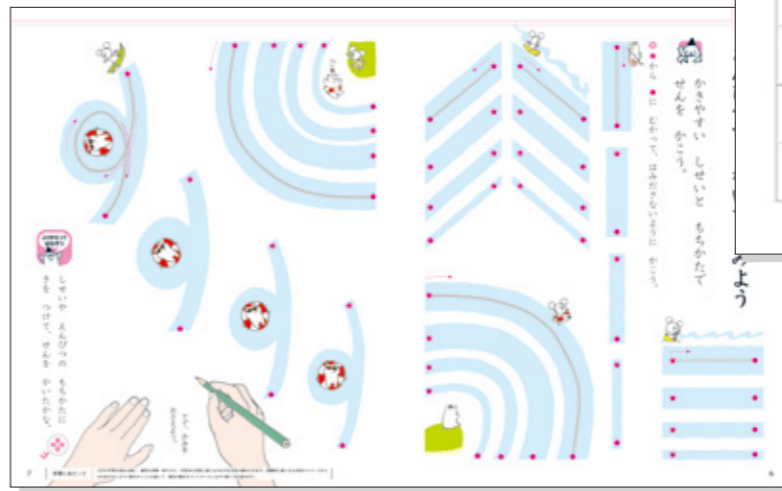
左利きへの配慮



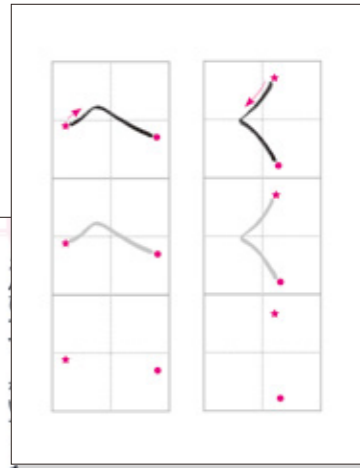
1年P4・5

3年P5

文字を書く前段階の線の練習では、**段階的に細かい動きができる**ように導いていきます。なぞり書きに比べて、子供たちは気持ちに余裕をもって取り組むことができます。



1年P6・7



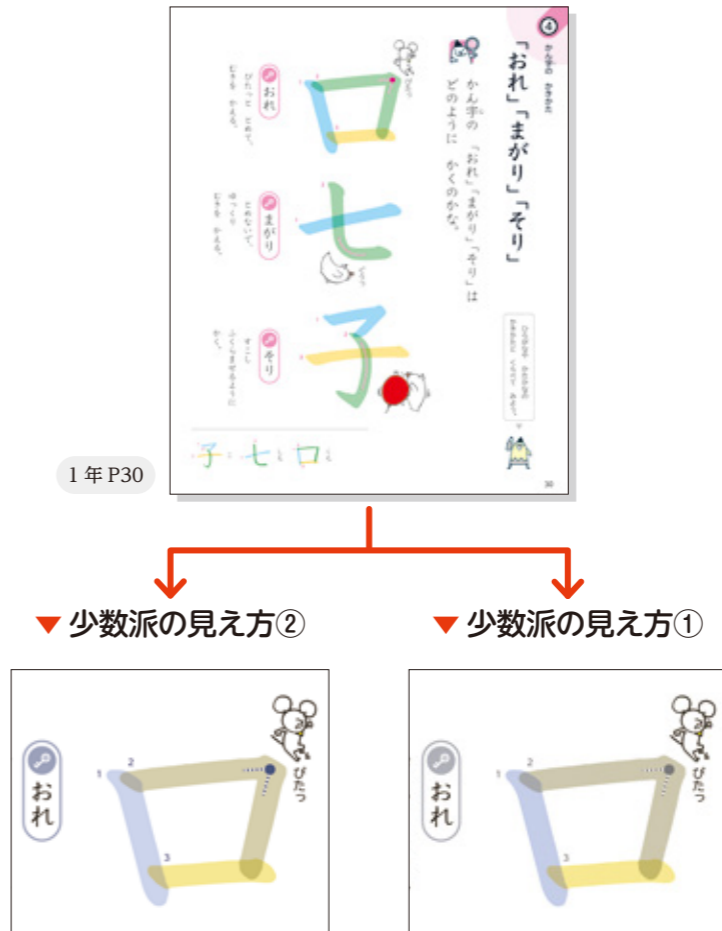
1年P9

一年生の五月までの教材は、**スモールステップ**を意識し、不要なつまづきを起ささないよう配慮しました。書き始め★と書き終わり●の記号は字形を捉える手がかりとなり、**空間認識に困難を抱える子供の理解にも有効**です。

色覚多様性への配慮

誰もが見やすい、分かりやすい

カラーユニバーサルデザインの観点から、配色・デザインについて全ページにわたって、専門家による検証を受けています。



1年P30

水書を使って楽しく、分かりやすく。



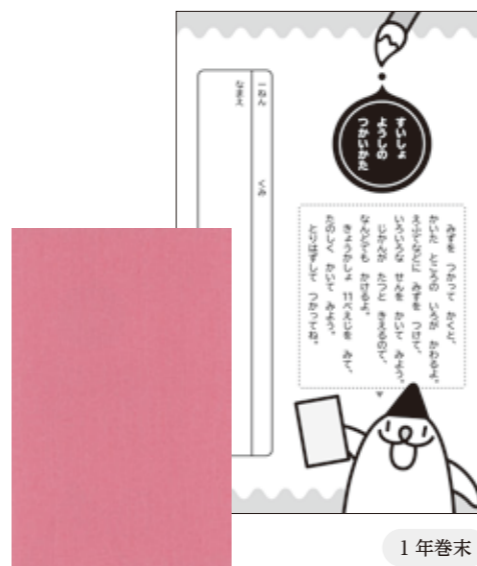
子供は「非日常」が大好きです。新しい道具「水書用筆」と「水書用紙」を使うことで、「子供の「書いてみたい!」を引き出します。水書用筆で運筆を体感すること、硬筆での適切な書字動作が身につくことが期待できます。」



「ぴたっ」と止める動きと、「払い」のすうっと力を抜く動きの違いが、鉛筆よりもよく分かったよ。



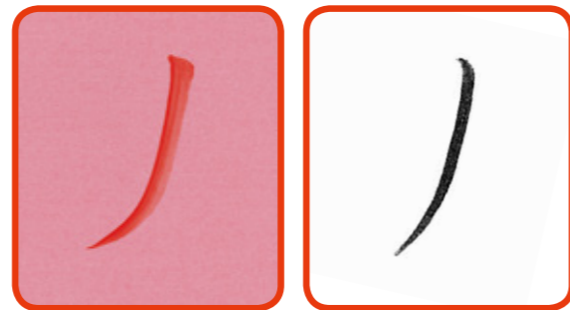
一・二年生全員に水書用紙
「水書を取り入れてみたいけれど、全員分を用意するのは難しい!」そんな声にこたえて、**一・二年生の教科書の巻末に、水書用紙をつけました。** はがしやすい特殊な糊を用いているので、低学年の子供でも無理なくはぎ取ることができます。裏面には記名欄があり、**はがした後、管理も容易**です。約五百回繰り返し使用でき、**耐久性**にも優れています。
また、教師用指導書には付属の水書セットを企画中です。(↓24ページ参照)



「水書」とは何でしょう? どんな効果があるのでしょうか?

新学習指導要領(平成29年告示)の解説において、小学校1・2年生の運筆能力を向上させる工夫として水書用筆等を使用した指導が明記されました。

水書用筆は、柔軟性と弾力性に富んでいるため、特に、「はね」や「払い」などの筆圧の変化を伴う運筆で、手指の動きを体感しやすくなります。また、水書用筆は、筆圧をかけなくても線がかかるため、指に力が入って鉛筆の軸を握り込むといった**持ち方を改善**することが期待できます。



水書用筆と鉛筆での線の違い

例えば、「止め」と「払い」を学習するとき



- 知識及び技能
- 思考力、判断力、表現力等
- 学びに向かう力、人間性等
- 主体的・対話的で深い学び
- 見方・考え方 資質・能力
- 学習過程の明確化
- 学習の系統性の重視
- 国語との連携
- 文字文化
- 特別支援教育
- ユニバーサルデザイン
- 幼小接続
- スタートカリキュラム
- 小中接続
- カリキュラムマネジメント
- 他教科との関連
- 教科横断的に取り組む課題
- 授業支援
- ICT活用 デジタルコンテンツ
- デジタル教科書
- 教師用指導書

伝統と文化を

大切にすることを育みます。

すつと背筋を伸ばして文字を書き、古来より伝わる文章を味わう。広い視野で現代に生きる文字について考える。伝統を引き継ぎ、これからの文字文化の担い手となる子供たちには、そんな時間も大切です。

我が国の伝統的な言語文化に関する言葉や文章を書いて味わう

全学年に、童謡や俳句・短歌、古文などをなぞり書きする活動を設定しました。国語では「声に出して味わう」ことを、**書写では書いて味わう」ことを目的として、連動を図っています。**

三年生以上の書き初め教材では、書き初めの歴史を紹介し、**伝統文化を意識**できるようにしました。



6年 P27



3年 P36

文字の世界を広げて

知的好奇心を刺激する「文字のいずみ」

漢字や仮名の成り立ち、世界の文字、文字に込めた人々の思いなど、**子供たちが興味をもつ文字文化コラム**を全学年に掲載しました。

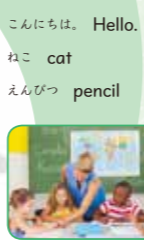


2年 P30

世界の文字いろいろ

英語圏のラテン文字

英語は、世界で最も多くの国で使われている言語です。全部で二十六文字で、大文字と小文字があります。



中国語の漢字

中国語は、世界で最も使用人口が多い言語で、約十億人が使っています。中国語の漢字の中には、日本語で使う漢字とは字形がちがうものがあります。

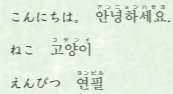


飛 ↑ ↓ 飛

日本語で使われるローマ字のように、母音と子音を組み合わせる文字を作ります。

韓国・朝鮮語のハングル文字

韓国語で使われるローマ字のように、母音と子音を組み合わせる文字を作ります。



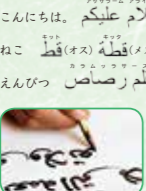
ヒンディー語のデーハナーリ文字

ヒンディー語はインドの公用語です。およそ五億人が使っています。文字にある横の線が特徴的で、言葉ごとに、この線をつなきます。



アラビア語のアンジュマ文字

アラビア語は横書きで、読む向きも書く向きも、右から左に進みます。文字は、単語の中の位置によって、字形が変わります。



ロシア語のキリル文字

全部で三十三文字で、大文字と小文字があります。



こんにちは。Здравствуйте.
ねこ кот(オス) кошка(メス)
えんぴつ карандаш

こんにちは。السلام عليكم
ねこ قط(オス) قطة(メス)
えんぴつ قلم رصاص



39

38

5年 P38-39

- 知識及び技能
- 思考力、判断力、表現力等
- 学びに向かう力、人間性等
- 主体的・対話的で深い学び
- 見方・考え方 資質・能力
- 学習過程の明確化
- 学習の系統性の重視
- 国語との連携
- 文字文化

- 特別支援教育
- ユニバーサルデザイン
- 幼小接続
- スタートカリキュラム
- 小中接続
- カリキュラムマネジメント
- 他教科との関連
- 教科横断的に取り組む課題
- 授業支援
- ICT活用 デジタルコンテンツ
- デジタル教科書
- 教師用指導書